



平成30年3月22日
発行 熊谷高校 SSH 事務局

☆ SSH講演会 「人工知能と人の言葉」

3月15日、SSH講演会が行われました。元 国立情報学研究所特任准教授「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトメンバーであった川添愛先生を本校にお招きして、「人工知能と人の言葉」という演題で、ご講演していただきました。主に、人工知能（主に機械学習）の概要、言語を扱うことの難しさについて、お話していただきました。高校の学習とのつながりを踏まえ、具体的な例を挙げながら、分かりやすくお話していただきました。



最後に、熊高生へメッセージをいただきました。

- ・何が起ころか分からない世の中だからこそ、よく考えることが必要。(自分はどんな人間か、どうなりたいのか、人生で何がしたいのか等)
- ・「自分の人生」をしっかり考えることは、自分を守ることになる。
- ・AIに振り回されず、うまく利用して、たのしい人生を！

川添先生、どうもありがとうございました。

熊高生の感想より

・いまAIは急速に進化しているので、AIへの知識を高める必要があり、将来への職業選択においては、自分に対してよく考え、AIではできないことなどを選ぶ必要があると感じた。

・人工知能について、講演を聞く前は、とても複雑なもので恐ろしいものだと思っていましたが、お話を聞くことによって、少しだけ人工知能について理解することができ、恐れるよりも正しい知識を持つことがはるかに大切だということを知れて良かったです。

・元からコンピュータ将棋を通じて機械学習など色々知ってはいたのですが、言語の出力などは初めての分野だったので、とても興味深いものでした。将来は、外国語を使う仕事、もっと言えば、通訳や翻訳などの仕事をしたいと思っているので、コンピュータとの付き合い方を意識して、もっと頑張りたいと思います。

・文系で言語学を学んでも、理系との関わりや、色々なところにつながりがあると思った。しかし、学んだことは、他の分野で無駄になるわけではなく、どこかで生きてくると改めて思えたので、今から様々なことに興味を持ち、学んでいきたい。



・私は銀行員になりたいと思っていたが、親に「人工知能が発達して仕事に就けなくなる」と聞いてから、進路に関して迷走していた。しかし、今日の講演会を通して、考えを改め直すきっかけとなった。「AIに奪われない仕事に就ける」か「AIを活用して新しい価値を生み出せる」か、を考えながら、これから生きていこうと思った。